

11月9日は「119番の日」。119番の適正利用にご協力を！



火災・災害情報は消防テレホンガイドで

119番は市民の生命や財産を守る大切な緊急電話です。適正利用にご協力ください。119番で災害などの問い合わせはできません。火災・災害情報は「消防テレホンガイド」をご利用ください。

消防テレホンガイド

☎0180-99-11191

*NTTひかり電話からは…

☎(823)5377



消防テレホンガイドの用語解説

火災関係の用語

- 建物火災：一般住宅、小屋、作業場など
- 中高層火災：3階建て以上の建物
- 車両火災：自動車、オートバイなど
- 林野火災：森林や原野など
- その他火災：枯れ草、ごみなど
- 移報通報：警備会社経由で消防本部に通報があり、その現場へ出動したとき
- 救命・救助活動関係の用語
- 救急隊応援救助：救急隊だけでは対応が困難なため、消防隊・救助隊を増隊し、協力して活動するとき
- 交通事故救助：交通事故現場での救出・救助のための出動
- 人命救助：事故などの時に安全な場所へ救



防災訓練で

問 消防本部指令課 ☎(823)4265

出・救助するための出動

●ベル鳴動警戒：非常ベルの鳴動を確認するための出動

●危険物流出警戒：油類など、燃える危険性がある物質の漏えいに対する出動

●自然災害警戒：水害、風害などに対する出動

●怪煙調査：大量の煙が発生した場合の調査や確認のための出動

●ストーブ異常燃焼警戒：通常使用により、ストーブやコンロが異常に燃焼した場合の調査や安全確認のための出動

●その他の警戒：出火危険、人命危険、災害発生危険がある現場を警戒するための出動

ファクスでも119番通報できます



119番専用のファクス用紙は市消防本部ホームページ、最寄りの消防署・分署・出張所、障がい福祉課(福祉棟1階)にあります。なお、11月から、より簡潔でわかりやすい用紙に更新しました。これまでの用紙もお使いいただけますが、新しい用紙に変更することをお勧めします。

11月6日(日)▶11月12日(土)

秋の火災予防運動

“消したはず 決めつけないで もう一度”



住宅用火災警報器

住宅火災によるものが9割で、その6割が「逃げ遅れ」によるもの。火災をいち早く知り、素早く避難することが大切です。消防本部予防課 ☎(823)4247

住宅防火のちを守る7つのポイント

- 寝たばこは絶対しない
- ストーブは燃えやすい物から離して使う
- ガスこんろなど、火を使う器具のそばを離れるときは必ず火を消す
- 住宅用火災警報器を設置する
- 寝具や衣類は防炎品を使用する
- 住宅用火災警報器を設置する
- 住宅用火災警報器を設置する
- もしもに備え、隣近所の協力体制をつくる



ストーブは安全に使う

火災予防イベント▶11月6日(日)に開催します！

秋田消防署(山王) ☎(823)4100 午前9時～11時30分

消防署や指令室の見学、住宅用火災警報器の展示、消防車と記念撮影など

中央卸売市場北側駐車場(外旭川) 午前9時30分～正午

消防車の乗車・走行体験、放水体験、ミニ制服コーナー、住宅用火災警報器コーナーなど 問 土崎消防署予防担当 ☎(845)0285

イオン秋田中央店(旧秋田サテイ)正面駐車場(橋山) 午前9時30分～正午

車両展示、消火体験など 問 城東消防署予防担当 ☎(832)3404

秋田南消防署(御野場) ☎(839)9551 午前9時～正午

車両展示、ミニ制服コーナー、ちびっこレスキュー・放水体験など

露月会館(雄和女米木) 午前9時30分～10時30分 小学生による防火俳句大会を開催 問 河辺消防署雄和分署予防担当 ☎(886)2623

問 河辺消防署雄和分署予防担当 ☎(886)2623

問 河辺消防署雄和分署予防担当 ☎(886)2623



シルバー人材センターを ご利用ください

豊富な技能・知識・経験を持った高齢者が、みなさんのご家庭や事業所などで下記のような仕事をお手伝いしています。人手が必要なときは、お気軽にご相談ください。なお、仕事の内容により料金が異なりますので、詳しくは、秋田市シルバー人材センターへお問い合わせください。

●庭の除草 ●庭木の剪定(せんてい) ●雪囲い ●家庭菜園手伝い ●草刈り ●障子・ふすま張り ●畳の張り替え ●大工・左官工事 ●ペンキ塗り ●駐車場や建物の管理・日直 ●あて名・賞状書き ●家事援助 ●イベント手伝い ●一般事務 など

(社)秋田市シルバー人材センター
八橋南一丁目8-2 ☎(863)5900

会員を募集しています!

シルバー人材センターでは、健康で働く意欲があるおおむね60歳以上のかたを対象に、会員を募集しています(年会費3,500円)。

会員には企業や家庭、公共団体などから引き受けた仕事を紹介し、仕事の内容などに応じて報酬を支払います。また、仕事に結びつく技能の取得と向上のため、各種技能講習会も開催しています。入会説明会は、毎月第2・第4水曜日、午後1時30分から同センターで行っています(祝日を除く)。



今回のドクター
松尾 重樹 先生

市立秋田総合病院副院長(泌尿器科)

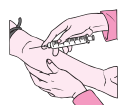
このコーナーでは、みんなが健康で元気に過ごすために必要な、ドクターからのちょっとしたアドバイスを紹介します。

PSA検査で 前立腺がんの早期発見を

PSA(Prostate Specific Antigen)…前立腺特異抗原。前立腺でつくられるタンパク質。

前立腺がんは年々増えています

「十年一昔」と言いますが、今や日本では食事をはじめ生活環境スタイルが欧米化し、その結果、罹患(りかん)する疾病も欧米に似通ってきました。特にがん疾病では「肺がん」「大腸がん」とともに「前立腺がん」が急増しています。数年前には天皇陛下が前立腺がんで手術を受けられ、日本のマスコミが大いに注目しました。そして最近では、お笑いタレントの間寛平さんがランニングとヨットで地球を1周する「アスマラソン」という偉業を見事に達成されたものの、前立腺がんにかかり、悩んでいたことを公表しています。



50歳からPSA検査を

前立腺がんは早期であれば96歳~99歳の割合で完治できるといわれています。また、早期がんは血液のPSA検査でその存在を推測することができます。前立腺がんは40歳~50歳代からも出現することが報告されていて、頻尿や排尿遅延などの排

尿症状がなくても、検診の一環としてPSA検査を受けることが重要です。一般的にPSA値が50歳からは3ng/ml以上、70歳からは4ng/ml以上10ng/ml未満の人に早期がんの可能性が高いといわれていて、実際、10人中2人~3人の割合でがんが見つかっています。

生活スタイルに合った治療が可能

前立腺がんの治療は他のがんと同様に「手術療法」「放射線療法」「薬物(ホルモン、抗がん剤)療法」など、多くの選択肢があります。特に早期がんでは年齢や生活環境に応じた治療が可能で、各治療法による治療成績に関してほとんど差はありません。ちなみに間寛平さんは「ホルモン療法」、そして米国で特殊な「放射線療法(小線源療法)」を行って前立腺がんを克服し、アスマラソンを貫徹されました。

現在、秋田においても最新の小線源療法を含め、あらゆる治療に対処できる環境下にあります。高齢社会に突き進んでいる社会構造からも前立腺がんはますます増加するものと思われ、依然、がん死亡率の高い秋田において50歳から検診の1項目としてPSA検査を取り入れることは、がん撲滅の大きな糧になるものと思われ、家族のためにもPSA検査を取り入れてははいかがでしょうか。



自覚症状が出る前に検診を